

オイルキャッチタンクキット（サイドカバータイプ / ノーマルクラッチカバー用）

取扱説明書

製品番号 07-05-0035

適応車種	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
		(JB03-1000001 ~)
		(JB05-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル (MLHJB02) (MLHJB03)	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎当製品の取り付けには、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。
- ◎当製品はダウンマフラー装着車専用用品です。ノーマルマフラー及びアップマフラーが付いている車両には取り付けが出来ませんので、ご了承下さい。
- ◎別売り弊社製 R サイドカバーキット (09-11-0190、09-11-0191、09-11-0192) との同時装着は出来ません。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎ JB03/JB05/MLHJB03 は、ヘッドブリーザーのブローパイホースの取り付けが出来ません。

～特徴～

- キャッチタンク容量は約 550cc です。
- キャッチタンク内にセパレーターが内蔵されている為、ブローパイガスとエンジンオイルを分離させ、ブローパイガスへのオイル混ざりを抑えます。
エンジン停止後は、タンク内に溜まったエンジンオイルをクラッチカバーへ戻します。
- キャッチタンク表面には、バフ研磨仕上げを施しています。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- キャッチタンクは必ずホースを接続した状態でご使用下さい。タンクのみを取り付けた状態で走行した場合、振動等でステーが破損し、タンクが脱落する可能性があります。（部品破損の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	キャッチタンク COMP. (サイドカバータイプ)	1	00-00-2544
2	オイルキャッチタンクステー	1	00-07-0224
3	ブリーザーキャップ COMP.	1	00-07-0176
4	カラー	1	00-00-1564
5	フランジソケットキャップスクリュー 8x25	1	00-00-0830 (3ヶ入り)
6	プレーンワッシャ 6mm	1	00-00-2812 (6ヶ入り)
7	ホースクランプ (φ 13.1)	8	00-00-0087 (4ヶ入り)
8	ホースクランプ (φ 15.5)	2	00-00-0215 (4ヶ入り)
9	チューブコネクタ (T型タイプ) / φ 8 ホース用	1	00-07-0201
10	結束バンド 150mm	2	00-00-0135 (10ヶ入り)
11	ブレードホースφ 12 (50cm)	1	00-07-0071 (1m/ φ 15.5 ホースクランプ 2ヶ付)
12	ブレードホースφ 8 (200cm)	1	00-07-0070 (1m/ φ 13.1 ホースクランプ 2ヶ付)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
 ※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

はじめに車両をメンテナンススタンド等で、安定させて下さい。

- 車両専用のメーカー純正サービスマニュアルを参照して、シートを取り外します。
- タンクを固定しているボルトを取り外し、チャコールキャニスタとタンクを繋いでいるホースと車体右側のホースでタンクと繋がっている所を抜きます。



※ MLHJB03 の場合

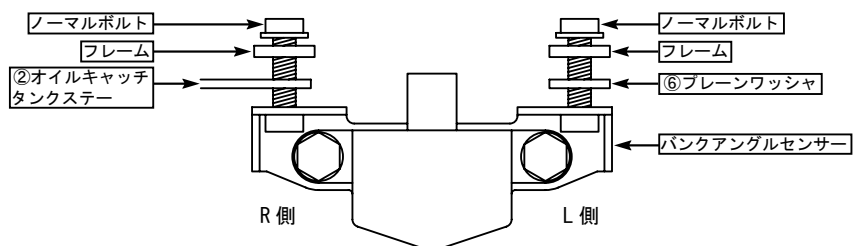
タンクからのホースは大気開放されているホースをタンク側で抜きます。

- タンクをずらし、バンクアングルセンサーの取り付けボルトを取り外します。
 ※ ABS 付車両は、ブレーキパイプが通っていますので、ブレーキパイプを留めているクリップを外して、少しずつしながらボルトの取り外しを行って下さい。
 この時、ずらしすぎでブレーキパイプを曲げないように注意して下さい。



- 車体右側には②オイルキャッチタンクステーをフレームとバンクアングルセンサーの間に挟み、ノーマルボルトで仮締めし、車体左側には⑥プレーンワッシャをフレームとバンクアングルセンサーの間に挟み、ノーマルボルトで仮締めします。
 ②オイルキャッチタンクステーの取り付け角度が定まったら、ノーマルボルトを規定トルクにて締め付けます。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
 ノーマルボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○①キャッチタンク COMP. の背面側（φ 8 のユニオン）に適当な長さに切断した⑫ブレードホースφ 8 を接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。

この時、シリンダーヘッドブリーザーから取り出す方、取り出さない方で、適当な長さが変わってきます。

取り出す方はシリンダーヘッドからのホース、クランクケースからのホース、キャッチタンクからのホースを⑨チューブコネクタで接続します。

取り出さない方はキャッチタンク（背面側のφ 8 ユニオン）とクランクケースを直接ホースで接続します。

○②オイルキャッチタンクステーに①キャッチタンク COMP. を取り付けます。①キャッチタンク COMP. と②オイルキャッチタンクステーの間に④カラーを挟み、⑤フランジソケットキャップスクリューで、ステーの左穴に取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジソケットキャップスクリュー
トルク：20N・m (2.0kgf・m)



○③ブリーザーキャップ COMP. をノーマルと交換します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーザーキャップ COMP.
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

○⑪ブレードホースφ 12 を適当な長さに切断し、⑪ブレードホースφ 12 に⑧ホースクランプφ 15.5 を2個通しておき、①キャッチタンク COMP. と③ブリーザーキャップ COMP. を接続し、⑧ホースクランプφ 15.5 で固定します。



○左側のサイドカバーとエアクリーナー BOX のカバーを取り外します。

※ JB03、JB05、MLHJB03 は、ケースブリーザーの位置の関係上、エアクリーナー BOX を取り外します。

○シリンダーヘッドから取り出しをしない方は、①キャッチタンク COMP. の背面側から出した⑫ブレードホースφ 8 をクランクケースに接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。シリンダーヘッドから取り出しをされる方は①キャッチタンク COMP. の背面側から出した⑫ブレードホースφ 8 を⑨チューブコネクタに接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。次に⑨チューブコネクタの T の字の下側とクランクケースを⑫ブレードホースφ 8 で接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。

※モデルによりケースブリーザー位置が異なります。



○⑫ブレードホースφ 8 を適当な長さに切断し、切断した⑫ブレードホースφ 8 に⑦ホースクランプφ 13.1 を2個通しておきます。①キャッチタンク COMP. とノーマルエアクリーナー BOX を接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。弊社製エアフィルターを装着している場合は、エアフィルターに同梱しているチューブコネクタを使用し、接続を行って下さい。



○⑫ブレードホースφ 8 を適当な長さに切断し、⑨チューブコネクタの T の字の左側とシリンダーヘッドを⑫ブレードホースφ 8 で接続し、⑦ホースクランプφ 13.1 で固定します。



○干渉が無いが、締め忘れがないか確認後、取り外した部品を取り付けます。

◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

